

会 議 録		令和6年12月19日作成	令和10年3月末日廃棄
会議名	京都府宮津警察署協議会（令和6年度第3回）		
開催日	令和6年12月17日（火曜日）		
時 間	午後2時から午後3時30分までの間（90分）		
場 所	京都府宮津警察署 講堂		
出席者	青木会長、矢野副会長、松田委員、佐々木委員、池野委員、中埜委員、中村委員、永濱委員、毛呂委員 計9人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、捜査管理係長、広聴相談係長 計11人		
諮 問 事 項	匿名・流動型犯罪グループについて		
会 議 内 容	1 署長挨拶	司会	副署長
	2 会長挨拶		
	3 協議	司会	会長
	諮問事項説明 匿名・流動型犯罪グループについて～刑事課長 (1) 闇バイトの概要・侵入強盗等対策について （当署員が作成した表題の内容の動画を視聴） (2) 犯人を侵入させない対策 （防犯器具の紹介・ガラス破り実演等）		
	【委員】 毎日、テレビのニュース等で話題となっている議題であるが、いまだ遠方の、他所の出来事であると、他人事のように思っていた部分もある。 動画でテーマとされていた侵入強盗事件については、いつどこで発生するのか分からない。犯人たちはSNSを使って募集するため、犯行場所や年齢を問わず、どこでも事件が発生する可能性があり、若年の者も犯行に加わっているといった事実も聞き及んでいる。 こういった事件の被害に遭われる方は年配の方が多いと思われる。 丹後地域は高齢の夫婦又は単独で居住している家も多く、住民の方にもこの現状を知っていただければと思うので、自治会・町内会での話し合いの場において注意喚起として議題に挙げてもらいたいし、今回視聴させていただいた動画を見てもらいたいと思う。		

宮津警察署でも広報活動をしていただく機会を増やしていただきたい。

例えば、パトカーのスピーカーは違反者等に停止を求める使い方だけでなく、町民・住民に対して、「皆さん、玄関や窓はしっかりと施錠しましょう。」等と防犯啓発する内容を広報するのはどうだろうか。

私が消防団に所属していた頃、防火週間等の活動では夜の見回りの際に「タバコの火は消してから寝ましょう。」等と自分の言葉で広報して回っていた。

夜だけと言わず、昼間の時間帯も警ら活動の中で広報活動を取り入れていただければ、パトカーのスピーカーの有効活用ができるのではと思う。

私の家は寺院であり、犯人を侵入させない対策といった点で、今、まさに防犯対策を講じている最中である。防犯カメラや侵入センサー等の設置を考えていたところであり、大変勉強になった。

【委員】 お金をもらえるはずも無いのに、若い人はなぜ軽い気持ちで闇バイトに応募して犯罪に加担するのかと、いつも不思議に思っている。

また、レジや金庫がある店舗や事業所を犯行の対象とするのではなく、お金を置いている事があまり期待できない一般の民家を対象にするのかと疑問に思っている。

被害に遭わないためにも、家には現金を置かない、玄関や窓には鍵をかけるといった習慣を身につける必要があると思うし、広めたいと思う。

【委員】 私は宿泊施設を経営しており、東京・千葉のような関東から来られるお客さんが、よくこの闇バイトや強盗事件の話をされるが、宮津や与謝の様な田舎でも起こりうる事件だと思うし、鍵をかけ、簡単な補助錠をかける等の、ちょっとした防犯対策で被害を減らす事ができると勉強になった。

伊根町でも昔に比べれば鍵をかける家が増えたが、年配の方はいまだに無施錠で出掛ける方もいる。

近所にも年配の方が大勢いるので、出掛けるときには鍵をかけるといったことを伝え広め、安全で住みよい町にしていきたいと思う。

【委員】 小学校・中学校でもスマホを持つ時代であり、SNSの利用が日常的なものになっていることから、こういった若年層の方に闇バイトの恐ろしさを伝えるべきである。

今回、見せていただいた動画は面白い要素もあって分かりやすく、伝わりやすい内容にまとまっている。紙で「闇バイトに気を付けて」と知らされるよりも、映像で見て視覚的に感じる方が、若年層の子供たちにもしっかりと伝わるのではないかと思うので、是非、小・中学校で子供たちに見せていただきたい。

防犯対策については、つい先日、私が働いている施設でも防犯カメラを設置したところだが、結構費用が掛かった。

いくら防犯カメラの設置が防犯に役立つと言っても、お年寄りだけの家庭などは防犯カメラを設置する費用を捻出することができない現状があり、防犯機能付き電話に補助金が出ているように、防犯カメラの設置にも行政等から補助があれば、防犯カメラを設置する家庭や企業が増え、犯罪が起これに

くい町となるのではと思う。

【委員】闇バイトを広めないために、小中高生に対する教育の一環として、安易な気持ちで闇バイトに応募してしまったがために、強制的に犯罪に加担させられ、人生が破綻するといった内容の映像を見せ、浸透させるといったことも大事であると感じた。

私の住んでいる地域は農家が多く、鍵をかけるどころか、玄関戸を開放した状態で家を出て、十数メートル先の田畑で野良仕事をする人が多い。顔見知りしかおらず、他所の者が入ってこないと思っているのか、ほぼ 100パーセント施錠をしていない。平和であると言えば聞こえはいいが、防犯意識が低い地域なのかなと思う。

防犯意識を向上させる対策として、先ほどの委員の意見にもあったように、警ら等の警察活動の中で、野良仕事をしている人を見掛けたら、「玄関戸は締めましたか。鍵はかけましたか。」と一声掛けていただければ、より犯罪が起きにくい地域となると思う。

【委員】実家で栽培していたシイタケの原木を盗まれたことがあり、防犯対策をいろいろ講じたが、一番効果があったと感じたのが駐在所の警察官に相談をしたことだった。

駐在所の警察官に相談をしたところ、その警察官は留守中の見回りを徹底してくれて、栽培している原木の数を数えて報告までしてくれていた。

また、シイタケの原木が盗まれる被害があったことを近所の方々に広報してくれて、その後の発生はなくなった。

この経験で、地元の警察官との連携や事件が発生しているとの広報活動、事件の発生を知った地域住民の監視の目というのが大事なのだと感じた。

【委員】私は地域の民生委員を努めており、ある日、独居で生活されている老人の姿が見えないので一緒に確認に来てほしいという依頼があり、警察官と一緒に老人の家へ向かい、家の外からは老人の姿が見えなかったのでガラスを割って家の中に入ったことがある。

その時、若い警察官がガラスを割ったのだが、その老人の家の窓は防犯ガラスが設置されていた上に、本鍵のほかに補助錠がかけられており、若い警察官が何箇所もガラスを割り、苦労していた。

結局、その若い警察官一人では窓を開けることができず、一緒にいた年配の警察官と一緒に四苦八苦しながらガラスを割っていた。何箇所もガラスを割っていたので大きな音もしており、時間も相当かかっていた。もし泥棒がこの家に侵入しようとするれば、諦めてしまうのではないかと思うし、被害者も通報する時間が十分確保できる。

この件で、防犯ガラスの性能や補助錠を利用した二重ロックをすることで、犯行を諦めさせることができると感じた。

【委員】私も当たり前の様に施錠せずに出掛ける癖があるので、注意したいと思う。

このように人から言われると注意しなければと思うし、お互いに注意し合うことが防犯意識の向上という点でも大切だと感じた。

会議 内容	<p>【警察】パトカーでの広報等、委員の皆様からいただいた御意見を参考にさせていただき、今後の警察署の運営にあたらせていただく。</p> <p>4 事務連絡</p> <p>(1) 令和6年度第4回京都府宮津警察署協議会は来年2月末もしくは3月初旬に開催予定である。</p> <p>(2) 防犯・犯罪情報メールについて、新聞やネットニュース等では得られない身近なニュース等をリアルタイムで知る事ができるので、是非、登録していただき、家族・友人などにも拡散していただきたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
----------	--

第3回京都府宮津警察署協議会の開催状況

